

「健康経営」の枠組みに基づいた保険者・事業主のコラボヘルスによる健康課題の可視化

■ 保険者と事業主の協業(コラボヘルス)を更に深化させるには、双方の共通の課題認識に基づく目標値の設定が重要であると考えられる。(事業主にとっては、健康維持・増進を通じて社員の労働生産性の維持・向上を図ることが重要である。)

■ そこで、本事業では、労働生産性に係わるデータを新たに取得し、一元的に統合・分析することで、従来の健診・レセプトデータを活用した分析手法よりも多面的に健康課題を明らかとする枠組みの構築を目指すことを主目的とした。

※ 東京大学政策ビジョン研究センター健康経営研究ユニットの協力に基づき、米国の先行研究で用いられている手法を参考として分析・検討を行った。

1. 健康関連総コストの把握

- ✓ 医療費に比して、労働生産性(プレゼンティーズム損失)の割合が大きいと米国の先行研究と同様の傾向が確認された。
- ✓ プレゼンティーズム損失割合が高い対象者が一定数存在しており、本分析に基づく健康施策の検討・実施の必要性が示された。

2. 健康リスク評価(集団)

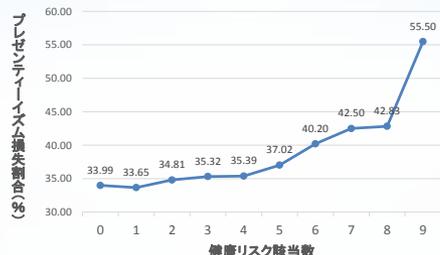
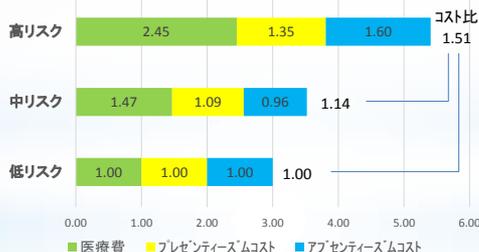
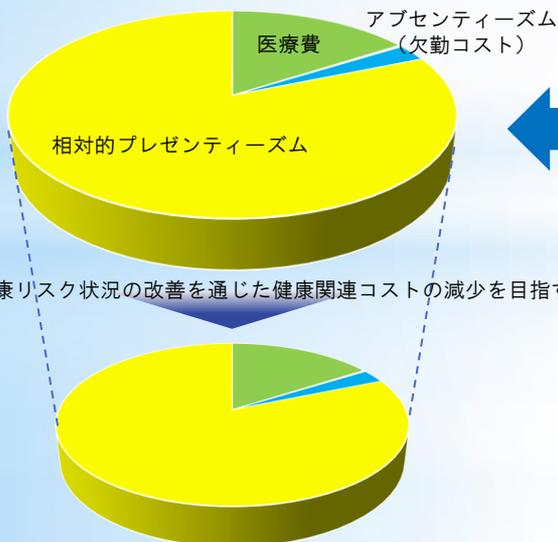
- ✓ 高リスク者は低リスク者に比べ、健康関連コストが大きくなること示された。
- ✓ プレゼンティーズムコストについても、健康リスク指標の該当数の増加に応じて増加しており、リスク状態の改善が健康関連総コストの低減につながる可能性が示唆された。

3. 健康リスク評価(リスク指標別)

- ✓ プレゼンティーズムコストは、喫煙・運動・睡眠習慣の改善、および心理的リスクの改善により減少する可能性がある。
- ✓ アブセンティーズムコストは、血圧、肥満、運動習慣の改善による影響を検討する必要がある。
- ✓ 医療費については、生物学的リスクの影響が大きい。

※ 性別によって健康関連コストの傾向が異なるため、リスク評価分析は男女別で実施した。本資料では男性の結果を示している。

各コスト項目において、有意差(5%水準)のあったリスク指標は以下網掛け項目(リスク有の方が損失大きい)



リスクカテゴリー	生物学的リスク	生活習慣リスク	心理的リスク
プレゼンティーズム損失コスト	血圧	喫煙	生活満足度
	血中脂質	アルコール摂取	仕事満足度
	肥満	運動習慣	ストレス
	血糖値	睡眠休養	
	健康問題既往症		
アブセンティーズム損失コスト	血圧	喫煙	生活満足度
	血中脂質	アルコール摂取	仕事満足度
	肥満	運動習慣	ストレス
	血糖値	睡眠休養	
	健康問題既往症		
医療費	血圧	喫煙	生活満足度
	血中脂質	アルコール摂取	仕事満足度
	肥満	運動習慣	ストレス
	血糖値	睡眠休養	
	健康問題既往症		

＜今後の検討の方向性＞

- ▶ 本分析を通じて、「労働生産性」の観点を加えることで、健診・レセプトからは見えないリスク指標に着目した健康施策の必要性が示唆された。
- ▶ 今後、継続的にデータ取得・分析を行っていくことで、より効果的な健康施策(効果的な介入ターゲットの特定、健康施策の実施前後の効果検証、課題抽出等)を実現できる可能性があると考えられる。